

自宅の将来を考える“きっかけ”シート

1. 自宅の将来について話し合おう！

ご自宅の将来について、記入例を参考に、できる限り関係する方々で話し合った上で記入してください。電話やLINEなどのチャットアプリを用いた会話でも結構です。
困難な場合は回答者の方1人で考えて、記入してください。これまでに話し合ったことがある方も、その内容をあらためてお書き下さい。

ご自宅のよりよい将来を考え、下記記入例を参考に自由にお書きください。

まとめ	いつ	例：10年後、今すぐ
	誰が	例：自分が、長男が
	どうする	例：相続する、売却する
	そのために	例：窓口で相談する、遺言書を作る

子育て夫婦の方の記入例

回答欄

まだ子育て中なので、息子が就職するまでは、少なくとも今の家に住み続けるつもりでいる。
子育てが一段落した後は、妻や私の健康状態を見つつ、必要なら住み替えも検討している。
今後も引き続き夫婦で話し合うことに決めた。



高齢夫婦の方の記入例

回答欄

妻と今は住み替えるつもりはないことを確認し合った。
以前から、娘に土地と住宅を相続して住み続けてもらいたい、と考えていた。
今回の話し合いで初めて娘にもその意思を伝えた。



三世代同居の方の記入例

回答欄

今後、自宅を誰が使うかわからないため、まずは自分たちにできることをしてみようと考えた。
市販のエンディングノートを購入し、書き始めることに決めた。その後、親族間でスムーズに相続が進むように、遺言書の作成を行う予定。



1人暮らしの方の記入例

回答欄

息子が県外に住んでおり、引き継ぐつもりはないと以前から聞いていた。また、他に自宅を引き継ぎたいという親族もいないため、将来は売却を考えていた。そのための手続きがよくわかっていないため、まずは市の空き家相談窓口と近くの不動産屋に相談した。



2. 自宅(資産)のことについて知ろう！

登記簿等を確認し、以下を埋めてみましょう。

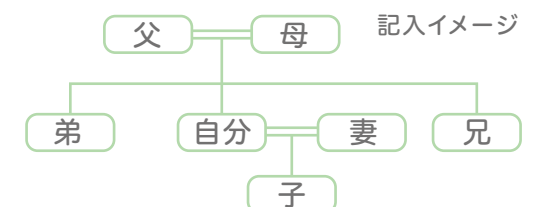
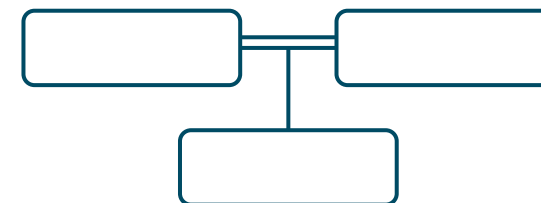
種類	土地	建物
所在地		
利用形態	例：自宅、田畑 等	例：自宅、貸家 等
名義人(共有者含む)		
持ち分		
相続登記※1	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
抵当権※2	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
面積	m ²	(延べ床面積) m ²

※1 不動産を所有している方が亡くなった時、その不動産を相続した人が、元の所有者から自分へ名義変更をする手続き

※2 住宅ローンなどでお金を借りた際、万が一返済できない場合に土地が建物を担保とする権利(抵当権設定登記の有無)

3. 家族のことについて整理しよう！

家系図を書いてみましょう。自宅の関係者について再確認するとともに、「1.自分の将来について話し合おう！」の参考としましょう。



MEMO

話し合った日

年 月 日

話し合ったメンバー